




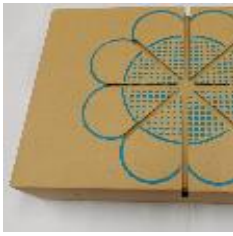








2019年度最終審査結果 受賞テーマとデザイン提案の例

<p>テーマ 生きた細胞をものづくりの材料に変える 「細胞ファイバ技術」 企業：株式会社セルフファイバ（文京区）</p>	 最優秀賞	<p>提案 新規培養技術による『酒づくりイノベーション』 提案者：清水 覚、清水 大輔</p>
 <p>髪の毛ほどの細さの透明なゲルチューブに、生きた細胞や微生物を閉じ込めた「細胞ファイバ技術」は、特許を取得した世界初の技術。規格化された繊維状の部品として、糸のように様々な構造を組み立てることが可能。</p>		<p>ゲルチューブに細胞を閉じ込める技術を応用。海外でも注目されている「発酵」に着目し、細胞ではなく酵母を入れ、「自分の好きな飲み物を、自分好みに発酵させて楽しむ」商品に。</p> 

<p>テーマ アイデアに富んだ製品を実現する「段ボール加工技術」 企業：有限会社坪川製箱所（葛飾区）</p>	 優秀賞	<p>提案 「段ボール加工技術」から生み出す明かりの防災プロダクト 提案者：柳沢 祐治</p>
 <p>段ボールは誰もが自由に加工することができて、軽くて丈夫。再利用も可能で廃棄も簡単。さらに安価なため様々なシーンで活用が可能。防災や玩具など、人々の幸せを守り育てる新しい商品へと生まれ変わる可能性をもつ。</p>		<p>自分が被災したときの避難所体験をもとに、組み立て、持ち運びが楽な、非常用段ボールランタンを提案。懐中電灯を設置するだけで、柔らかい明かりを確保できる。</p> 

<p>テーマ 運営者と参加者をリアルタイムに繋ぐ「イベントサポートシステム」 企業：株式会社アーク情報システム（千代田区）</p>	 優秀賞	<p>提案 ものづくりをアップデートする新サービスの提案 提案者：清水 覚</p>
 <p>イベント運営者がプログラムをCloud上で作成・配布し、プログラムの進行状況を随時更新できる「イベントサポートシステム」。ユーザーはWebブラウザやスマホアプリからプログラムを閲覧し、リアルタイムな状況把握が可能となるイベント運営に特化した画期的なサービス。</p>		<p>広告制作・TV・イベント会社やフリーランスを対象とした、Webサービスを提案。香盤表制作、チャット機能、カレンダー同期機能、アーカイブ機能などを持ち、ものづくり現場のコミュニケーションのあり方をデザインする。</p> 

2020年度 東京ビジネスデザインアワードの流れ(予定)

<p>企業からテーマを募集 (4月14日～6月25日)</p>	<p>都内ものづくり中小企業から、自社保有の高度な技術や特殊な素材などを「テーマ」として募集。</p>
<p>テーマ発表 (9月)</p>	<p>審査委員会が10テーマ程度を選定し、HP等にて発表。</p>
<p>デザイナーからの提案募集 (9月～11月)</p>	<p>選定テーマに対し、デザイナーがあらゆる可能性を検討し、新たな用途開発を軸とした事業全体のデザインを提案。</p>
<p>一次審査・二次審査 (11月)</p>	<p>一次審査・二次審査を経て、テーマ毎に企業とデザイナーのマッチングが成立したものを「テーマ賞」として選出。</p>
<p>最終審査・表彰式 (2021年2月)</p>	<p>テーマ賞の中からデザイナーの公開プレゼンテーションにより、「最優秀賞」・「優秀賞」を決定。</p>